平和の歌 声高らかに

大阪の合唱団 沼津五中で演奏会

「想いを風に」を歌うザ・ブルームのメンバー＝沼津市五月町の沼津五中

大阪のアマチュア混声合唱団「ザ・ブルーム」の平和コンサートがこのほど、沼津市五月町の沼津五中で開かれた。同合唱団が、平和への願いが込められた同校のオリジナル合唱曲「想(おも)いを風に」の編曲バージョンなど、計十曲を披露した。

「想いを風に」は、同校の平成十六年度卒業生が在学中、平和学習の一環で制作し、同校では現在も修学旅行先の広島や卒業式などで歌い継がれている。一昨年に同校を演奏で訪れた際、「想いを風に」を聞いて感動したザ・ブルームのピアニストの山田紗耶加さん(五〇)が混声三部合唱用にアレンジした。

合唱団のメンバー約二十五人は、同校の生徒や住民を前に「やめよう傷つけ合うこと」「手をつなぎ合う、それが本当の幸せ」などの歌詞を、息の合った美しいハーモニーで歌い上げた。

卒業生も足を運んだ。作曲を担当した石川裕崇さん(二八)＝沼津市立高三年＝は「自分たちのおもいが遠くにまで広がっていると知り、うれしく思う」と話した。コンサートの前には、絵本作家の指田和子さん(四〇)による被爆ピアノにまつわる絵本「ヒロシマのピアノ」の朗読会もあった。